

# 東海大学と西条市が 教育・研究交流協定を締結しました



先月号でもお伝えしましたとおり、東海大学の高野二郎学長ほか大学関係者のご出席のもと、2月18日(土)に市庁舎で東海大学と西条市の教育・研究交流協定の調印式を執り行いました。東海大学は、文化・産業・健康・福祉・スポーツ・環境など幅広い分野で活躍する多数の研究者を有し、また「特許登録」「特許公開」において日本一の件数を誇るなど「産学連携」分野では日本でトップクラスの評価を受けています。市では「まちづくり」「環境・エネルギー対策」「産

業振興」などの行政施策の推進に当たって、かねてより東海大学から多大な協力を得ており、現在も担当部局間の交流が続いています。

特に工学部からは、本市の地域資源である「水」「工業集積」「農産物」等と「水素エネルギー」を活用した地域活性化策のご指導をいただき、その理念をもとに市が作成した「西条市食品加工流通コンビナート構想」に対して、力強いエールを送っていただいています。

今回の協定は、これまでの交流実績を基盤として、さらに幅広い分野での連携活動を推進しようとして締結したものです。



## 西条市の地域資源を 現地視察

大学関係者の方々に本市の地域資源をご理解いただくため、調印式に前後して、石鎚山やアクアトピア水系、総合福祉センター（もてこい元気館）、西条運動公園などを視察していただきました。今回の現地視察やこれまで

の協定締結に向けての協議のなかで、次のような連携活動案が出ています。

- ① スポーツ医科学研究所と連携した「四国山脈を利用したスポーツ選手の高地トレーニング」や「幅広い年齢層を対象とした肥満の運動療法などの健康増進、体力向上の取り組み」
- ② 海洋学部と連携した「魚介

類の陸上養殖技術の開発などの水産資源開発」

また、西条市で行われている次世代育成支援スポーツ事業に、体育学部の高野進先生が講師として参加することが決定するなど具体的な交流事業も始まりました。

さらに、この事業で来られた大学関係者に東予・周桑地区を中心とする現地説明も実施したところです。

## 東海大学と西条市の これからの連携活動

今回の協定締結を契機として「東海大学における教育・研究の充実」と「西条市における地域活性化」の両面で、相互に多大なプラス効果が現れるよう、市ではさらなる多様な分野の連携活動を積極的に推進していきます。



▲東海大学関係者による現地視察

- ①ひうち球場、②ロープウェイ山頂成就駅周辺、③総合福祉センター（もてこい元気館）、④アクアトピア水系、⑤総合文化会館横の観音水